

申請者の現状(基本情報) (別紙1)

作成日	令和7年〇月〇日	相談支援事業者名	相談室〇〇	計画作成担当者	〇〇〇〇
-----	----------	----------	-------	---------	------

1. 概要(支援経過・現状と課題等)

幼年期は、母親から離れることが苦手で、分離不安、人見知り、感覚過敏と不安緊張の強さがあった。小学校入学後も、家庭や学校で不安緊張の強さは続いていた。特に、運動会や発表会などの行事では、見通しが持てず慣れないことに対する不安が極めて強く、「無理、参加できない」と言うこともあった。また、急な腹痛など、体の不調を訴えることもしばしばあった。小学校3年生時、父の転勤を機に札幌市に転入し、今の学校に転校した。転校後、学習面の遅れはなく、友人関係も築き、地域の野球クラブで活動していた。しかし、3学期から、頭痛や腹痛を訴え、欠席(欠席が決まると症状は消失)や遅刻の頻度が増加し、次第に家庭でも宿題や学習をしなくなった。担任から専門機関への相談を促され、〇〇病院の児童精神科を受診したところ、自閉スペクトラム症と診断され、同病院にて心理士によるカウンセリングを開始した。当初、両親に混乱はあったものの、今後、Bが家以外で活動する場所を広げ、コミュニケーション力、対人交流のスキルを高められるよう、放課後等デイサービスの利用を希望し、相談室につながった。両親は、これまで本人の不安緊張の強さを心配していたが、兄も不安が強いタイプであったため、専門機関への相談までは考えていなかった。また、Bが不登校になり、自閉スペクトラム症の診断を受けるとしていなかったものの、担任や病院の支えにより、障がいへの理解や受け止め方が変化し、最近では少し前向きに考えられるようになったと話している。

2. 利用者の状況

氏名	児童B	性別	男	生年月日	平成27年〇月〇日	年齢	9歳(小4)	電話又はFAX番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
住所	札幌市〇〇区				[持家]・借家・グループホーム・入所施設・医療機関・その他()				
障害または疾患名	自閉スペクトラム症	障害者手帳(種別・等級)	なし	支援地		障害支援区分			
経済状況	(収入)	保護者の所得	(年金)	(手当)	児童手当				
保護者または緊急連絡先	(氏名) 児童B母	(続柄) 母	(電話番号)	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇					
家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入					社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等(役割)				
<p>育児に協力的</p>									
生活歴 ※受診歴等含む					医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等				
<p>【周産期】 出生体重3200g。 【発達歴】 特記なし。乳幼児健診や就学時健診でも指摘なし 【生活歴】 0歳 〇〇市で生まれる 8歳(小3) 札幌市へ転居。 9歳(小3) 3学期から不登校。担任からの受診勧奨。春休みに〇〇病院児童精神科を受診、自閉スペクトラム症の診断。心理カウンセリングを開始 9歳(小4) 放課後等デイサービスの利用に向けて、相談室の利用を開始</p>					<p>〇〇病院児童精神科(月2回) 診断: 自閉スペクトラム症 治療: 心理カウンセリング</p> <p>健康保険()</p>				
本人の主訴(意向・希望)					家族の主訴(意向・希望)				
<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトと同じように朝から学校に通いたい。 ・友達と楽しく会話したい。 ・勉強を頑張りたい。 					<ul style="list-style-type: none"> ・少しでもいいから学校に通ってほしい。 ・友達と楽しく関わってほしい。 ・不安や緊張が強いので、少しでも和らぐとよい。 				

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考(担当者・連絡先)
公的支援(障がい福祉サービス等)	相談支援事業所	相談室〇〇	相談支援、計画作成、モニタリング他	随時	
	小学校	〇〇小学校	教育支援の提供	週5回	
その他の支援	児童精神科	〇〇病院 児童精神科	心理カウンセリング	月2回	

申請者の現状(基本情報)【現在の生活】 (別紙2)

◎週間計画表

	月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の行動
4:00								・余暇はテレビ鑑賞やゲームをして過ごす。 ・朝食は取らないことが多い。 ・起床就寝は遅い。特に長期休みは顕著。 ・3年3学期初めから学校へ登校していない。
5:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
6:00								
7:00	起床・着替え	起床	起床・着替え	起床・着替え	起床・着替え	起床・着替え	起床・着替え	
8:00								
9:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	起床・着替え	起床・着替え	
10:00								
11:00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	昼食	昼食	
12:00								
13:00	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	
14:00								
15:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
16:00								
17:00	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	
18:00								
19:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
20:00								
21:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
22:00								
23:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
0:00								
1:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
2:00								
3:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
4:00								

週単位以外のサービス

〇〇病院児童精神科
(月2回)

ADL等 基本情報シート

氏名 児童B(9歳)

日常生活	食事	自立。 好き嫌いほぼない。
	排泄	自立。
	身の回り	自立。 一部、シャツが出ていることがあるが、声をかけると直すことができる。
運動機能	【粗大運動】	走る、泳ぐなどはやや苦手。特に協調運動は苦手で、自信のなさがある。
	【微細運動】	細かい作業、書くこと、図工などを好み、時間をかけて丁寧に作る。 複雑に切る、書くなどは苦手。
知能	【記憶、理解】	数字、記号、順序等の記憶は良い。テレビで流れるフレーズや場面を良く覚える。 抽象的な指示の理解は難しいが、順序性がある事柄や繰り返し経験したことはその通りに理解し、実行できる。
	【話す、読み書き】	年齢相応の漢字の読み書きは可能で、ゆっくり丁寧に書く。 学習内容は理解しているが、発言の仕方がわからず、発表は苦手。
発達	【コミュニケーション】	慣れた友人や家庭を除き、会話の緊張が強い。 質問には「はい」、「いいえ」の返答が主。 一部意図の解釈がずれてかみ合わないことがあり、持続しづらい。 考えをまとめて話すことは苦手。 表現力は乏しい。
	【対人関係】	特定の友人が数名いる。友人宅や外で遊ぶこともある。 家庭では、マイペースな面があり、自分の意思が通らないと暴言やたたくことがある。 暗黙の了解は分からない。 慣れない人への不安が強く、母を過度に頼りにする様子がある。
	【集団生活、ルール、マナーなど】	視覚化されたルール、繰り返しのルールは理解しやすい。 余暇はゲームやテレビ鑑賞をして過ごす。 野球クラブは楽しんで活動していたが、不登校になってから後ろめたさがあり、足が遠のいている。 見通しが持てないことへの不安が強い。 間違えることや、その時の相手の気持ちが気になることで、確認行為が多くなりがち。

健康管理	服薬	なし
	視力・聴力	なし
	睡眠状況	就寝時間はやや遅く、深夜0時になることが多い。 特に長期休み中は顕著。
	アレルギ	なし
	補装具・自助具	なし

発達や学力の検査結果等	【WISC-V知能検査】	実施時期：令和7年〇月 発達相談にて心理士による実施 生活年齢：9歳5か月 知能指数：IQ95
	所見	単純な記憶や作業の能力は高い 辞書的な知識は多く、覚えやすい 頭の中で考えたり操作することは苦手 抽象的な概念や内容の理解は苦手

IADL	【電話、買い物、調理、金銭管理、洗濯、掃除、交通手段の利用など】	電話で話す、服をたたむ、コンビニでの買物、掃除、手伝い(食器洗い等)などは可能。 金銭は、少額であれば管理可能。 交通手段の利用は、大人と一緒にであれば可能。
	父・母・兄・本人の4人家族。	

家族	【両親】	共働き世帯。 両親と本人との関係性は良好。家族は理解あり。 発達診断告知後は落ち込んでいたが、徐々に父母共に障がいを理解し、受け止め、少し前向きに考えるようになってきた。
	【兄】	マイペースでおとなしい。本人に対しては、必要時に話しかける程度で、関係は良くも悪くもない様子。 【親戚等】 近隣に住む母方祖母は育児等に協力的。

事業所見学時の様子

実施日：令和7年〇月〇日

見学者（児童）	児童B
見学者（保護者）	児童B母

【本人の様子】

- ・初めての場所で、もじもじした様子で母にくっついており、別の場所に促しても、離れようとしなかった。
- ・時間経過とともに、職員や施設の状況を把握し始めると、職員と一緒に施設内を見学し、職員からの問いかけに相槌で応じることができた。
- ・多くは話さず、小声で、単語での受け答えが多い。テレビ番組やゲームの話をする、少し表情が和らぎ、知っているキャラクターについて短い話をした。
- ・職員からの質問が長くなると、何を問われているのかわからないようで、表情が固まり、もじもじする様子があった。
- ・施設内の人や物が気になる様子で、キョロキョロと見渡していた。

【母の様子】

- ・事業所の概要を説明すると、よくうなづき、関心の高さが伺えた。
- ・受け答えはしっかりしており、不明点や心配事は、的確な質問があった。
- ・パンフレット等を見ながら、メモを取っていた。
- ・母はBについて、「母親への依存が強く、家庭と学校とでギャップがある。また、このままずっと学校に行けないのか心配」と、不安気な様子で話していた。母に寄り添う言葉がけをすると、安心した表情になった。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画(計画様式2-1)

				作成日	令和7年○月○日	利用者同意署名欄	○○○○
利用者氏名	児童B様	障害支援区分	○○	利用者負担上限額	○○○ 円	相談支援事業者名	相談室○○
受給者番号	○○○○○					計画作成担当者名	○○○○ 電話 ○○○-○○-○○○

◎サービス担当者会議(会議を開催していない場合は、専門的意見を聴取した事業者名称と担当者名を記入します)

会議実施日	令和7年○月○日						
会議出席者	事業者等名称	○○小学校		○○病院児童精神科	放課後等デイサービス○○		
	担当者名	母	○○○○	○○○○	○○○○		

◎生活に対する意向、援助方針

利用者及びその家族の生活に対する意向	(本人) クラスメイトと同じように朝から学校に通いたい。友達と楽しく会話したい。勉強を頑張りたい。 (保護者) 少しでも学校に通ってほしい。友達と楽しく関わってほしい。不安や緊張が少しでも和らいでほしい。
総合的な援助の方針	Bさんが不安とうまく付き合っていくための自己理解を深めて力を伸ばし、その力を無理なく学校などの集団で発揮できる機会が増えるよう、保護者や学校などと連携しながら、応援します。 また、保護者がBさんの良き理解者として、適度な距離感で後方支援に回ることができるよう、支援者でサポートチームをつくります。
長期目標	(本人) 身近な人に日頃の話や不安なことを伝えられるようになる。学校や家庭以外の場所で活動できるようになる。 (保護者) Bさんの特性を理解し、上手に関わることができるようになる。学校や放課後等デイサービスなどを活用しながら、Bさんの育ちをサポートする環境を整える。
短期目標	(本人) 興味のある活動を通じて友達と活動や対話ができるようになる。生活リズムを身につけ、家以外の場所で活動できるようになる。 (保護者) Bさんの特性、不安、緊張、困っていること、得意なことなどへの理解を深める。

◎モニタリング予定月

		支給期間						令和 7年 ○月 ○日 ~	令和 8年 ○月 ○日				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和	年度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
令和	年度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
令和	年度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
令和	年度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

区保健福祉部受理日	令和7年○月○日	福祉支援 保健支援 担当者	○○
-----------	----------	------------------	----

サービス等利用計画・障害児支援利用計画(計画様式2-2)

◎解決すべき課題、提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期など

優先順位	解決すべき課題・本人のニーズ	支援目標	達成時期	福祉サービス等の種類、内容、量	提供事業者名 (担当者名・電話)	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	(Bさん) 友達と楽しく会話したい。 (保護者) 友達と楽しく関わってほしい。	集団活動を通じて楽しく過ごす経験を積み、自分の気持ちや困ったことを言葉で伝えられるよう働きかけます。		○教育・保育機関 ・小学校(5日/週) 集団でのやりとりや意思伝達、社会的ルールなどの社会性向上	放課後等デイサービス〇〇 担当:〇〇〇〇 連絡先:〇〇〇〇	(Bさんの役割) 無理なことや嫌なことは、我慢せずに伝えてください。 少しでもリラックスできる時間や活動、工夫などあったら教えてください。		気軽に社会参加できるような工夫をお願いします。
2	(Bさん) クラスメイトと同じように朝から学校に通いたい。 勉強を頑張りたい。 (保護者) 少しでも学校に通ってほしい。	Bさんの不登校の要因を理解し、小学校、放課後等デイサービス、病院等と情報共有します。 学校以外の場面で、勉強する方法を一緒に考えます。	6か月	○福祉サービス ・放課後等デイサービス(14日/月) 小集団活動 ○相談支援事業(随時) 困りごとを聞きとり、情報提供をする関係機関と連携し、サポートチームをつくる	〇〇小学校 担当:〇〇〇〇 連絡先:〇〇〇〇 〇〇病院児童精神科 担当:〇〇〇〇 連絡先:〇〇〇〇 相談室〇〇 担当:〇〇〇〇 連絡先:〇〇〇〇	学校に行けそうな方法を一緒に考えてほしいです。 (保護者の役割) Bさんのことで不安があれば、遠慮なく気軽に伝えてください。 家庭でできることについて、支援者みんなで考えましょう。 学校以外の場所で、BさんがBさんらしくいられる場所があれば、アイデアをください。	6か月	本人も学校に行きたいと意思表示していますが、焦りやプレッシャーで「行かなければ」と思っているかもしれません。
3	(保護者) このまま学校に行けなかったらどうしよう。 最近、母親への依存心がどんどん強くなっているような気がして、この先が心配。	Bさんの不安や緊張を和らげるための手助けを関係機関と一緒に探します。 ご家族が相談しやすい良好な関係を保ちます。						不安解消の手段が母への依存になっている傾向があります。母との適切な距離感ももてるような支援をお願いします。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画(計画様式2-3)

◎週間計画表

	月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の行動
4:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	・週3回放課後等デイサービス ・余暇はテレビ鑑賞やゲームをして過ごす。 ・起床就寝は遅い。特に長期休みは顕著。 ・3年3学期初めから学校へは登校していない。
5:00								
6:00								
7:00	起床・着替え	朝食	起床・着替え	起床・着替え	起床・着替え	起床・着替え		
8:00								
9:00								
10:00	起床・着替え	送迎	起床・着替え	送迎	送迎	送迎		
11:00								
12:00								
13:00	自由時間	放課後等 デイサービス	自由時間	放課後等 デイサービス	放課後等 デイサービス	自由時間	自由時間	
14:00								
15:00								
16:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
17:00								
18:00								
19:00	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	入浴・余暇	
20:00								
21:00								
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	週単位以外のサービス
23:00								
0:00								
1:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	〇〇病院児童精神科 (月2回)
2:00								
3:00								
4:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	

サービス提供によって実現する生活の全体像	Bさんが、勉強のほか、多様な体験をする機会が保障されるとともに、生活リズムを整えることにつながる。また、Bさんの不安や緊張について、周囲の理解が深まることで、学校に通うための支援体制や本人の取組みを具体化できる。
----------------------	--